

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 北九州市 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 III V 】 |
| 2 実施対象者 | 北九州市立南小倉中学校 第1学年 73名 |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック推進事業)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p> |
| 4 目標 (ねらい) | <ul style="list-style-type: none"> ・車いすを使用する生活の苦労や工夫を知り、体験を通じて障がいをもった方たちと共生する社会について考える機会とする。 ・車いすバスケットの選手の話聞き、障がいを持った方に限らず、力強く前向きに生きている先輩の実体験から、目標意識・目的意欲を持った生き方について考えさせる。 |
| 5 取組内容 | <p>①講師紹介（プロジェクター使用）</p> <p>②講師の方の講話</p> <p>③質疑・応答</p> <p>④競技用車いすの体験</p> <p>⑤車椅子バスケットの選手との試合形式</p> |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持った方が、自分の弱い部分をも受け入れ、力強く前向きに生きていることを知ることができた。 ・他者の個性や考え方を、受け入れる寛容さを持つことができた。 ・パラリンピック競技に対する関心を、高めることができた。 ・目標を持って生きていくことの素晴らしさに、直にふれることができた。 ・障がいを持った方と共生するために、自分には何ができるかを考える機会となった。 ・世界を相手に活躍するプレーヤーの競技に対する姿勢やプレーの迫力を実際に目にすることができ、その道の専門家の素晴らしさを感じることができた。 |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生を身近な存在に感じさせるため、質疑応答など堅苦しくないような雰囲気にした。 ・できるだけ多くの生徒に競技用車いすを体験してもらうために、体験したことのない生徒を優先したり、時間を区切ったりした。 |
| <p>8主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備的な問題で、スロープがないなど、車椅子の講師の先生を迎え入れるための準備が不十分であった。学校という施設は、多様な方々のニーズに対応するためのものであり、ユニバーサルデザインを意識したものでないといけないと再認識させられた。 ・体育科と連携をし、バスケットボールのルールや歴史などの事前学習を行った上で実施した方が理解が良かったのではないかと思われる。 |
| <p>9来年度以降 の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、子どもたちの意識や意欲がわくような体験学習はさせていきたいと考えている。世界で活躍する「本物」に接することで、子どもたちの世界観や人生観にも刺激を与えたい。選手だけでなくコーチや大会ボランティアの方など、違った視点からのスポーツに対する考え方にも触れさせてみたい。 |